

# 広報 ごじょうめ

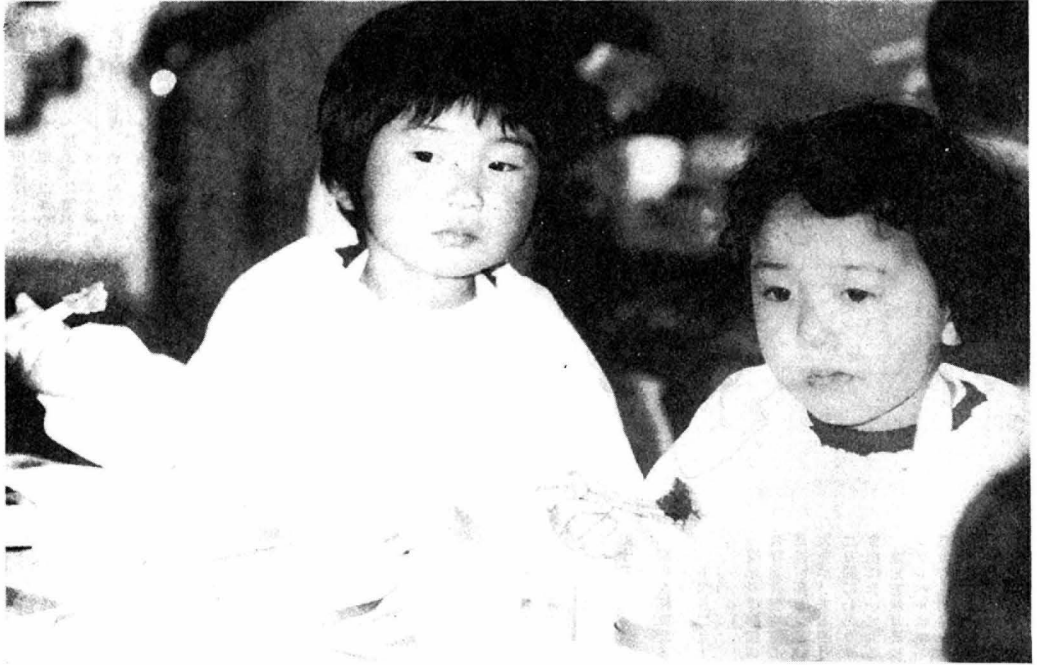
発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課 電話(018876)代 2100番  
印刷所 湖東印刷所 電話(018876) 2430番 (一部五門)  
郵便番号 018-17 毎月1日・15日発行

## 人口と世帯

世帯数	3,917	世帯	
人口	17,807	人	
内訳	男	8,604	人
	女	9,203	人

住民登録調 (48年3月末現在)

転入・転出の場合はかならず窓口へ届出ください。



写真は はじめての弁当を開く園児たち

4月6日入園式を終えた五城目保育園児126名は、1週後の12日はじめての弁当を開いた。おかあさんの手作り弁当とあって、保育さんの注意も上の空、フタをとってはおかずくらべ、す早く物々交換をする子ども、となりの弁当の中をジューツみつつめている子どもそして会話も実に豊かだ。

「わたしのおべんとうはパンダちゃんだよ」と女の子。「おれのだばキカイダーだ、かつこうえがべ」とすこんでみせる男の子。

親許をはなれてメソメソ型からすつかり落着きを取り戻した子ども達、保育さんといろいろ話し合いの様子をみているとほいほい楽しい発言が盛んだ。

保育園に行きたいなあ～そんなムードを子どもを思う親心は誰もが「健康で、かしこく、他人より、よりすぐれたものを身につけさせたい」という望みをもっている。

### わあーい おかあさんが作った 弁当だゾー

それが、「そんないざづらをする」と先生に言いつけるよ」とか、「こんなことができないようではみんなに笑われるよ」という言葉になってあらわれ、自分の望みの型にはめようとする。こんなことを繰り返している内に「保育さんがこわくなくなったり」「保育園が恐ろしい」という心理的な警戒を子どもに植えつけてしまう。それでなくても、新しい環境で緊張するためにどもつたり、夜尿症になったりする例もあると聞く。自立心を高めるためと称して、入園入学したとたん突き放すのはよくないことだといわれている。子ども達は、保育さんに頭をなでられたり、手、足、顔などにふれられることで安らぎをおぼえるそうである。おかあさん自身がリラックスして、たまには自分のヒザにのせ、保育園の生活をそれとなく引き出し、ホメホメしながら、保育園が子ども達の菜園であることのもう一つ作りをしてはいかががでしょうか。



「五城目町を去るに際して」  
秋田県文化課  
門間 光夫



石崎道雄は今年三年度の調査のメスを加えることになっている。学界に大きな影響を与える大切な遺跡であるが、地元石崎地区の方々の協力には心から感謝している。自然保護では全国にもまれな行政実績をあげているこのよ様な文化町に奉職し得た私は教育者として全く幸福であったと思っっている。

町民の皆様にあたたいご支援とご協力に心から謝意を表したい山と川のある清らかな五城目町の発展を心からお祈りする次第である。

昭和三十三年から  
三十五年  
間私が  
奉職した  
五城目  
高校校  
長

鳥獣保護センター開場式に

# 5月10日来町

## 常陸宮 同妃殿下

殿下は、午後一時五十分頃会場に到着し、式典終了後、記念植樹と記念放鳥をなされる。  
式典参加者は八百人が予定され雨天の場合は五城目小学校体育館でおこなわれる。

「いこいの森」の事業は、四十七年度から着工し、野島山荘等の施設も含めて総事業費二億六千万円をかけている。

「いこいの森」の施設配置はカッポの通りで、中央の「緑の広場」を中心にいろいろ配置されているが、愛鳥山荘は管理人が常駐する棟も兼ねている。その外、野鳥の救護舎や保護舎等も設備されており野鳥や獣類にとってははたれりくせりの配慮がなされている。一般に公開されるのは、五月十日

第二十  
七回鳥獣  
遊園の愛  
鳥の一環  
として、  
来る五月  
十日野島  
山に造成  
された「  
いこいの  
森」にお  
いて全国  
野鳥のつ  
どいの終  
了後秋田  
県鳥獣保  
護センター  
の開場  
式が、常  
陸宮、同  
妃殿下ご  
出陣のも  
たにおこ  
なわれる  
当日両

以後になるが、森の中をめぐると  
線道路をはじめ、遊歩道は鳥の姿  
でるオケストラを聴きながら自  
然のいぶきと緑を堪能する事がで  
きる。今後秋田湾臨海工業地帯の  
休息地として高度な利用が予測さ  
れている。

愛鳥遊園のはじまりは、昭和二  
十二年からで、四月十日を「パー  
ドデー」として出発した。以後年  
々行事の内容が充実され一日の行  
事から遊園行事に移行したのは、  
昭和二十五年からであった。以後  
全国的に鳥の声が賑やかに五月  
産卵、育すうの大切な時期は五月  
中旬として、その日を五月十日  
から二週間と定めている。

自然の営みを大切に  
鳥を多くしたいから巣箱を作っ  
てやる。これは最も単純で行動し  
易い動作だが鳥が住むところで  
食べ物がないことに空箱だけに  
静かな森にもさまざまな動物物

なってしまう。そんな意味から「  
いこいの森」には、実をつける木  
が数多く植えつけられている。鳥  
の食べ物には木の実に限らず、ミミ  
ズ、ムカデ、トビシ、ダニなど  
土中に住む虫類も大の好物である

の営みがあることを私達は日常あ  
まり感じていないが、こわされない  
自然のしくみが、鳥をうたわせ、  
太陽に緑が輝くことをもつと知る  
必要があるようだ。  
本町では五月十日の式典開催の  
受け入れ側として事務局職員万  
全の体制をとっている。次の職員  
が事務局員なので、この式典に関  
してご用命の場合はご連絡くださ  
い。

電話 二二〇〇番、三七二一番

事務局 小玉 甚一  
事務局次長 千田金之助  
事務局長 石川 富司  
事務係 大石 定雄  
庶務係 伊藤 一也  
運 営 係 千田 光夫  
千田 源吉

五城目町の  
100年  
[51]

### 馬場目川の漁業

小 野 一 二

ひと月ほど前の新聞に、町商工会青年部の方々のアユの保護活動が報じられた。馬場目川に富津内川が合流したところのすぐ下に、戸村堰へ水を取り入れる大きな横止めがある。取水口まで大きな横止めのための、コンクリートでかためたオーバフローは、アユにとっては大変高く、そこから流れおちる水勢は非常に急である。アユは、急流にいんどんではおし流され上流に泳ぎのぼるのは極く少ないらしい。大部分は横止めの下の流れにたまって、やつてきた町民の漁業をいたずらに高めるだけである。のぼる前のアユは、魚体が小さく、産卵前なので、毎年放流しアユは尽きてしまわう。

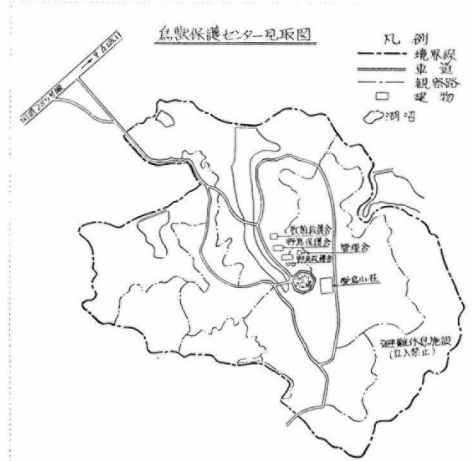
商工会青年部の人々は、若アユをとらえ、バケツに入れて横止めの上に放してやろうというのであつた。また、オーバフローに魚道をつくるように、しかるべき筋に町民の胸をあたたかくするニキー町であった。

馬場目川は、昔の地図でみると五城目より下流、川口までを五十日川、五城目川といい、富津内川は中津又川、山内川といわれていた。この馬場目川は、昔はよい漁場であった。今でもサケ漁に用いた大きなヤスがついたまま残されている。高崎の武田家の軒にも、二間柄のヤスがぶら下っている。

雄物川のサケ漁は、今日も行なわれていて、大前近くの川原にはシーズンになるとサケ番小屋がつくられ、観光客をよんでいる。馬場目川のサケ漁も、かつては米代雄物川、子吉の各河川にまけないほどだったはずである。五城目町の部落は、すべてといってよいほど川岸近い河原段丘上に発達している。これは、原始時代や古代の遺跡と重なっている。遠い古い時代に住んだ人々は、川を産卵のために使っていたのである。採集狩猟の生活の中にサケ漁が大きな部分を含めていたから、この大昔の文化を「サケの文化」と名づけることもできる。サケの文化は北方系の文化ということになる。

そうした遠い時代からつづいてきたサケ漁が、急激に漁獲が減少してしまふ。町村の「神前講」記録は江戸末期から物産、事件等を記録しているが、その明治十七年の条に「冷害、鮭漁はほとんどなし」と書かれている。

明治の後半になると、海と八郎潟を結ぶ船越水道の銚子口にクテアミをしかけて、文字通り一網打尽で日に数回もあげてくるようになつた。産卵した川に帰ってくるサケが、産卵前にとりつくす漁をしたらぬから、たちまち資源は枯れてしまふ。馬場目川のアユはそうはならないだろう。若い人たちに敬意を表したい。



第十二回  
高松宮林東北高校選抜レス  
——四月二九—三〇日五高で——  
東北高等学校体育連盟、秋田県教育委員会主催による、第十二回高松宮林東北高校選抜レスリング大会が、来る四月二九—三〇日の二日間にわたり県立五城目高校体育館においておこなわれる。地元五城目高校は、全国でもトップレベルにあるレスリング校で部員も三〇名をかかえているが、このたびの大会では、五二キロ級の堀井選手をはじめ、五六キロ級の佐々木、菅原等軽量級選手の活躍が期待されている。

# 春の防犯運動

春の行楽期を迎え総合防犯運動が四月二十一日から五月十日までの事項に重点を置き実施されました。

犯罪と火災のない明るいまちづくりにみんなで協力しましょう。

◆盗犯の防止

一、各家庭、官公署、学校、工場事務所、店舗等の完全な戸締りの励行

二、留守をする時、隣近所へ必ず声をかけ合しましょう。

三、挙動不審な者を見かけたら、警察への通報にご協力下さい。

◆少年の非行化防止

一、家族のみんなで話し合いの場を多くしましょう。

二、少年の外出、帰宅時間、持物には常に注意し、不審な点にはお

## 危険物取扱者試験に伴う講習会の開催について

消防法第十三条の規定に基づく昭和四十八年度第一回の危険物取扱者試験が、六月十七日実施されますが、これに伴う乙種第四類及び丙種の受験者講習会が次の通り開催されます。

講習会の期日及び場所

乙種第四類 期日 五月八日、九日、二日間  
五月十日、十一日、二日間

丙種 期日 五月七日、二日間  
場所 秋田山田秋田県自治会館

受講料 乙種 一・五〇〇円  
丙種 一・〇〇〇円

※申し込期日 四月三十一日(必着)

くわしいことは消防署へお問い合わせ下さい。  
尚申し込書は消防署にあります

◆山火事防止

一、山菜採りのタバコ、マッチの投げ捨てによる山火事は毎年発生しており、山へ入る時は必ずフタのついた空き缶を持ち歩き、吸い終わりの燃えさし、タバコの吸いガラを山に投げ捨てないようにし、山火事を防止しましょう。

二、チヨットした注意で山火事は防げます。

五城目町防犯防火組合

「国民健康保険」  
新運営委員決まる

五城目町国民健康保険運営審議会の新委員が四月一日付で次の通り選任されました。

これは医師又は薬剤師を代表する者。被保険者を代表するもの。公益を代表する者のおの六名ずつ十八名によって構成し五城目町の国民運営の全般について被保険者やその他の利害関係者の立場から各事項の審議に当るものです。

▽新運営委員は次の通りです。

・医師又は薬剤師を代表する委員 岸田光郎(再) 笹尾 知(再) 畑沢 実(再) 渡辺時治(再) 田口誠一(新) 小浜チエ(新)

・被保険者を代表する委員 八木下みき(再) 館岡ヨシエ(新) 伊藤 広作(新) 大石 安正(再) 安田 鶴治(再) 小玉 正義(再)

・公益を代表する委員 小玉 鶴夫(再) 伊藤 源五郎(再) 伊藤 新太郎(再) 工藤 祐喜(再) 北島 石太郎(再) 加藤 教蔵(新)

△地籍調査

五月中旬から

五城目・森山地区を中心に実施町で実施している地籍調査は、みなさまのご協力で順調に進み、

# 日本一きれいな町をみんなの力で

「町ぐるみ」み大掃討作戦

四月二十二日(日)に延期

三月十五日号の町広報でお伝えしお願ひしていた今年度第一回「町ぐるみ」み大掃討作戦の実施を準備の都合もよって四月二十二日(日)に延期しました。

なおその実施にともなう協議会室(登記所)に保管されており、四月十七日(火)夜場第一会議所において午後一時三十分より開催しますので町内部落会長、環境保全指導員(衛生班長)、企業や諸官庁の衛生担当者、各社会教育団体長等、ぜひご出席ください。すようお願ひします。

◆保険料納付について

いよいよ四月から四十八年度の保険料納付が始まります。昨年度は前納する方が約二百名にのぼり一昨年の倍以上に伸びて来ております。前納すると割引することができます。出来る方は是非前納納付して下さい。次の表は前納するときの割引表です。

## 国民年金

◆保険料納付について

本町の保険料の納付率は昭和四十五年度九五・三%全累の低位にありました。昭和四十六年度は九八・四%と大きく上まわり全累の七十一町村のうち四十二番目のし上り、いよいよ昭和四十七年度はみなさまのご協力によりまして順調に昨年を上まわって納付されておられます。

あと何%かで一挙に一〇〇%完納になります。過去の低位成績を補うためにも是非ご協力下さるようお願いいたします。

保険料前納金額表(年を単位として前納する場合)

1、定額保険料				
前納する月	48年4月	48年5月	48年6月	48年7月
前納額	7,440円	7,780円	8,120円	8,460円
2、附加保険料(旧所得比例)				
前納する月	48年4月	48年5月	48年6月	48年7月
前納額	4,240円	4,290円	4,340円	4,390円
3、5年年金保険料				
前納する月	48年4月	48年5月	48年6月	48年7月
前納額	9,210円	9,360円	9,500円	9,650円



国民年金は20歳から加入

# 暮しの案内

## ＊桜まつり＊

### ABS 芸能パレード等

わが町の桜まつりは、五城目町商工会と五城目町の共催で例年催館公園でおこなわれておるが、今年も次の日程により実施される。

会期 四月二七日～五月一日

会場 雀館公園

催物 ・四月二九～三〇日  
午後一時～フオーテ  
ソング  
・五月一日午後一時～  
ABS芸能パレード  
(ラジオ公開録音)  
・その他他園技等

住まいと生活展が秋田市立体育館において開催され、全県下より数百点出品されその技術を競ったが、本町から出品された製品は他の市町村の製品を圧倒し、次の方々が栄えある賞を勝ちとった。

- ▼秋田県林務局長賞 原田木工所 立閑戸
- ▼秋田製紙新社賞 菊地合板木工(株)
- ▼秋田テレビ社長賞 (ラジオ公開録音)
- ▼秋田県家具工業会会長賞 渡辺タンス店 収納三点セット
- ▼秋田県家具販売協同組合理事長賞 伊藤忠次木工所 収納三点セット

### 木と住まいと生活展

本町の参加製品好成绩を納める  
去る三月二十八日から四月一日まで木工連等の主催による「木と

### 海外研修で国際的な視野を

―申込四月二十一日まで―  
総理府では、日本の青年を海外へ派遣し、青年の国際的視野を広め、国際的な協力の精神をかん養むために、次の要領で希望者を募集している。

- ①募集は市町村を通じて行う。
- ②市町村における募集の期限は四月二日まで。
- ③応募しようとする方は、五城目公民館に連絡のこと。
- ④派遣経費は総理府が支給する。ただし、事前研修中の食費(約五、〇〇〇円)は個人負担
- ⑤訪問国は「欧州第一班」ドイツ、フランス、欧州第二班イギリス、イタリア、スウェーデン・アジア第一班インド、大韓民国、タイ、マレーシア、北米班アメリカ合衆国、カナダ、中南米班ブラジル、ペルー。

### 金浦町から研修視察

由利郡金浦町役場から、このたび総務課長外二名が来庁され、当

町をモデルに、伝票会計の実施に伴なう財務規則の改正、文書の保管及び文書の集中管理(オフセット)を中心にした浄書センター)について視察、研修した。

### あなたの本棚

- ▽秋田県人物風土記(高橋賢寿雄)
- ▽新しい子ども本の本の発見
- ▽読書相談の理論と実学
- ▽幼児のための絵本と文字
- ▽集団読書のすすめ
- ▽手ざかりで(きり)開いた親子読書(六冊) 斉藤佐次郎
- ▽人間勝負 (柴田健三郎)
- ▽ヤング育兒学 (倉合 恵子)
- ▽おうちへお帰り (倉本 恵子)
- ▽八郎 湯 (千葉 治平)
- ▽日本のわらべ唄 (上屋 一男)
- ▽テレビの思想 (多田 晃)
- ▽帰りこぬ風 (三浦 綾子)
- ▽やぶ医者繁昌記 (田村 忠一)
- ▽氷つくりの悲哀 (合田 弘一)
- ▽わが家の花づくり (福田 康成)
- ▽風のかたみ (川端 武彦)
- ▽ああ青春 (加藤 謙三)
- ▽誰かが触った (宮原 昭夫)

### 金子秀雄殿の

#### 香典返し福祉事業へ

三月十五日死亡された西野金子秀雄殿の長男久雄氏より故人の遺志であるこの事で町の福祉事業へ現金五千元が寄贈(預託)されました。

又新畑町佐藤敏英さんからも現金六千元が社会福祉事業にと寄贈(預託)されています。

紙上を借りて厚くお礼申し上げます。 薄意銀行五城目支店

### ヤング登場

### 女性の結婚と生きがい



各地で梅がほころび、桜のつぼみも急激に大きくなった。陽春は駆け足でやってくる感じである。森山青年会の今年度最初の行事である観桜会ももうすぐ交流会という形で行なわれる。

私が青年会に加入してから早や一年が過ぎたのである。加入したと言っても単に顔を出したに過ぎない。積極的に事業に参加しなかつたのである。青年会で集まれば決まって話題になるのが恋愛と結婚である。と言っても男性はくだらないと話には加わらない。しかし女性にすれば最も身近な問題なのである。

ある新聞に婦人に関する意識調査の結果が載っていた。それによると女の幸福は結婚であり生きがいは子ども、そして投票性と呼ばれる立場の女性に時間的余裕と生きがいがあっても、それを実行に移すことは不可能だと思われる。

しかし現状に満足していない人は案外多いのではないだろうか。個々が封建的な結婚に対する考え方を改め、最も理想的な結婚を女の幸福であるというところも明確にする、又生きがいの感じ方も違ってくるのではないだろうか。

結婚が女性の幸福ならば、今のように限られた中から自分の相手を見つければいい問題は理想を言うならば、年なんか制限されずにもっと広い視野のもとで最も自分にふさわしい相手を見つければいいのではないだろうか。また、子どもが女の生きがいと言うならば、その子どもが立派に成長して自分の元から離れて行ったときその時点で生きがいはなくなるのだろうか？ 家庭を持った女性が結婚以外に生きがいを見い出すとすれば、現代の様に外に仕事をもち家庭に帰れば育児、炊事、洗たくと手を休める暇もなく動き回っている現状では、とうとう自分の暇は有るものには持たれない。暇は有るものには持たれない。暇は有るものには持たれない。暇は有るものには持たれない。